

重度身体障害者収容授産施設(ミニコロニー建設)

## 社会福祉法人設立趣意書

新潟県内の身体障害者の数は約四万三千人といわれ、そのうちでも重度の肢体不自由児者(一、二級)は約六千人といわれています。私共は障害をもつわが子が、将来社会に出ても力強く生きていけるようにしてやりたいと、長い間悩み、苦しみ、時にはあせり、時には絶望しながら訴え続けてまいりました。そして夢中になつて育てているうちに、子供はいつの間にか大人になりましたが、親の体力の衰えを感ずるにつけても、親亡き後はどうなることかと、暗然として夜も眠れぬこともしばしばでありました。

そこで私たちは、これまで障害の程度に応じた施設がほしいと、各関係機関に陳情し続けるとともに、私たち親の願いが実現できるような社会福祉法人をつくり、先ず重度者のための血の通つた収容授産施設の実現をはかりたいと、努力を重ねてまいりましたところ、幸にも君知事殿はじめ県ご当局の温かいご理解とご協力のもとに、私どもの積年の夢であり、悲願であつた「重度身体障害者収容授産施設」が、「新潟県重度心身障害者施設整備基本構想」のモデルケースとして、実現を見ようとしていることを、各種報道機関によつて知ることができました。

これを知つた重度障害者は申すまでもなく、私たち親といたしましても、前途に大きな希望を見出し、心を一つにし力をあわせて、重度障害者の一人一人が、残存機能を精一ぱい發揮して働らき、生きがいのある生活をおくることができるような収容授産施設を実現しようと決意し、ここに社会福祉法人を設立したいと念願する次第であります。

### 記

一、法人名「社会福祉法人

」(君知事命名)

二、施設名「

」(公募の予定)：重度身体障害者で雇

用されることの困難な者を収容し、必要な訓練を行ない、かつ、施設内で自活させることを目的とする。

三、定員 五〇名

四、建設予定地 新潟市

(面積約一〇、〇〇〇 $m^2$ )

五、建物 平屋建・耐火構造(一、六五〇 $m^2$ )

六、工事費 二億三千六百万円

新潟市東中通一ノ八六 新潟県社会福祉会館内

法人設立準備委員会事務局

委員長 小柳 胖

電話 二八一二二四五